

令和 2年度 社会福祉法人ユタカ福祉会
事業報告書

◎喜連西デイサービス（一般デイサービス・和みデイサービス）

令和２年度では、新型コロナウイルスの流行により、介護業界に大きく影響を与える年となった。一般デイ・和みデイについても、新型コロナウイルスの感染予防を意識された利用者が、自粛によってサービス中止をされる方もおられ、前年度と比べて登録者数が約６％の減少となった。その中でも、利用者に対しての楽しみが損なわれない様、各職員で企画を煮詰め、意識して行事の提供を行った。感染予防によって、外出行事の開催は控えた代わりに、施設内で特別昼食会の開催を行った。５月と６月には、２週に及んで特別昼食会を開催している。その他にも、今までに取り組んだ事のない施設内行事として、川柳大会や、クリスマス会では２０周年のお祝いケーキと、お菓子のお土産を提供させて頂いている。その他、節分では施設内での餅つきも開催し、３月にはひな祭りを行い、従来では外出行事で行っていた梅見を、日本国内の梅の名所をスクリーン上映している。いずれの行事も利用者から好評を得ており、時世に考慮した上で、満足度の高い行事の提供を行う事が出来ている。

地域交流についても、新型コロナウイルス感染予防の観点から、ふれあい喫茶や盆踊り大会、その他の交流の場も自粛により開催が出来ておらず、昨年度に比べて行事としての交流の機会は減少したものの、施設周辺でお会いした方には、挨拶からお声掛けをさせて頂く事で、地域住民からの情報収集の機会として積極的に対応し、包括支援センターからの情報収集・連携に努める事で、デイサービスの利用に繋げる事も出来ている。

令和２年度の一般デイ・和みデイの平均登録利用者数は１４１名。（一般デイは１１６名、和みデイは２５名。）自事業所、他事業所等も含めて６０名のご紹介を頂き、利用に繋がったのが約４６名となっている。新型コロナウイルスの影響もあり、登録者数は減少となっているものの、紹介件数に関しては前年度とほぼ横ばいで、利用につながった件数も横ばいとなっている。６月から新型コロナウイルスによる臨時的な２区分算定の対応を実施しており、登録者数の減少による影響を多少ながら緩和している。引き続き徹底して感染対策を徹底し、利用者の体調変動を注意深く確認しながら、各職員も新しい生活様式を意識して、対応に努めていく。

令和２年度を振り返り、次年度も新型コロナウイルスの感染予防の徹底を図りながら、利用者に楽しさと、限りなく住み慣れた地域と住まいでの生活を送れる様に、各職員が責任感と真心をもって、良質なケアの提供に努める。

○令和２年度の年間スローガン

- ・御利用者様が住み慣れた地域での日常生活が送れる様に、一人ひとりのニーズに合わせた支援に努める
- ・向上心を忘れず、元気に明るく前向きに、より良い１日を提供できるケア体制
- ・一方通行にならない「報告・連絡・相談」

○喜連西デイサービス行事報告書

令和 2年

5月3日～6日	菖蒲湯	担当	安部
5月26・28日 30日	サプライズ昼食会	担当	大西・安部・長富
6月1日・3日 5日	サプライズ昼食会	担当	田畑・廣橋・森村
7月7～8日	七夕祭	担当	安部
8月27日・28日	夏祭り	担当	安部・大西・長富
9月24日・25日	敬老会	担当	増田・鈴木・田畑 三谷・西村
10月23日・24日	運動会	担当	安部・田畑・山下 玉崎・中尾
11月24日	川柳大会	担当	山下・鈴木・増田 安部・鳥丸・道中
12月18～22日 12月22日 24日・25日	柚子湯 クリスマス会	担当	安部 長富・安部・大西

令和 3年

1月22～28日	新年会	担当	田畑・安部・鈴木 喜安
2月3日	節分+餅つき大会	担当	安部・鈴木・田畑 喜安・玉崎・上村 西村
3月2～4日	ひな祭り	担当	長富・田畑・安部

※その他、随所でサプライズおやつを提供や、写真撮影会などを実施。

○業績について（前年度との比較）

・令和 元年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
一般デイ	7,947 (97)	8,186 (98)	7,583 (98)	7,875 (96)	7,813 (95)	7,436 (96)
和みデイ	1,369 (20)	1,748 (20)	1,757 (21)	1,860 (24)	2,306 (23)	2,355 (24)
予 防	1,114 (35)	1,106 (35)	1,094 (36)	1,043 (35)	1,091 (37)	1,028 (35)
合 計	10,430 (152)	11,040 (153)	10,434 (155)	11,778 (155)	11,210 (155)	10,819 (155)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
一般デイ	8,220 (93)	7,435 (91)	7,343 (94)	7,528 (91)	7,184 (93)	6,879 (87)
和みデイ	2,389 (23)	2,545 (25)	2,651 (26)	2,796 (25)	2,380 (24)	2,580 (26)
予 防	1,057 (35)	1,098 (36)	1,085 (36)	863 (28)	887 (29)	930 (30)
合 計	11,666 (151)	11,078 (152)	11,079 (156)	11,187 (144)	10,451 (146)	10,389 (143)

・令和 2年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
一般デイ	6,494 (94)	6,344 (89)	7,026 (89)	7,541 (88)	7,044 (84)	7,203 (81)
和みデイ	2,465 (27)	2,611 (25)	2,826 (23)	3,069 (26)	3,229 (26)	3,207 (26)
予 防	885 (30)	774 (30)	860 (30)	973 (30)	1,029 (32)	1,100 (34)
合 計	9,844 (151)	9,729 (144)	10,712 (142)	11,583 (144)	11,302 (142)	11,510 (141)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
一般デイ	7,707 (84)	6,924 (81)	7,208 (78)	6,493 (79)	6,728 (81)	7,510 (85)
和みデイ	3,014 (25)	3,160 (28)	2,962 (28)	2,595 (24)	2,623 (23)	2,948 (24)
予 防	1,075 (36)	1,163 (38)	1,232 (39)	974 (30)	789 (28)	844 (27)
合 計	11,796 (145)	11,247 (147)	11,402 (145)	10,062 (133)	10,140 (132)	11,302 (136)

※単位：千円

※（ ）は利用者登録数

◎喜連西ケアプランセンター

令和 2 年度においての年間利用者延人数は、維持は出来ているが、新型コロナウイルス感染予防のため、サービス利用を自粛されたことで身体機能や認知機能の低下が見られる方、体調不良により入院となられた方が多くみられ、例年よりも入退院の対応が多い年となった。入院された方の中でも退院後は自宅に戻る事も難しく特別養護老人ホームや有料老人ホームに入所となられている方も多く、前年度に比べ増加している。地域柄一人住まいで家族も遠方である方が多く、今後も同様の事が予想される。次年度においては今迄以上に利用者の体調や精神面に留意し、多職種との協働、事業所内での情報共有への意識を更に高め、利用者が入院や入所することなく、安心感・満足感を持ち生活を送る事が出来るよう、自立に向けた支援に努め、更に地域に必要とされる事業所を目指す。

○年間目標について

①信頼関係の構築

利用者はもちろんであるが、その方の家族や知人、近隣住民へのアプローチを心掛け、利用者の立場に立ち、同じ目線で共に考える事で信頼関係の構築に努めた。また、介護支援専門員としての信頼関係を築く事もでき、他事業所からの信頼も深まったと思われる。

②心豊かな生活の実現

住み慣れた地域でその人らしい生活が送れるよう、心身の状況や、利用者の取り巻く環境を常に確認しながら、利用者の意見を徴収し、モニタリングやサービス担当者会議等で課題の把握に努め、不足と思われる部分に対して提案、共に考える事で、生活状況が改善された方が多くみられている。今後においても継続して実践していく。

③ケアマネジメントの充実

利用者及び家族の解決すべき問題点や自立出来る可能性の部分を把握し、その人らしい生活が続けられる様、介護保険サービスやその他社会資源を組み合わせ、効果的に提供されるように配慮する事が出来た。また、困難事例においてはチーム全員で共有し、いつでも対応出来るように心がけた。今後においても継続して実施していく。

④情報管理の徹底

個人情報の使用については、目的の範囲内で最小限に留め、情報提供の際には再度利用者やその家族に確認を行なっている。今後もより一層管理の徹底に取り組んでいく。

⑤職員個々が自己研鑽に努め、質の向上に努める

地域における事業所や活用できる社会資源の情報把握、介護保険以外の諸制度、ケアマネジメントに関する技術の習得のため週1回程度事業所内研修の実施を継続、また、外部研修にも出来るだけ参加し、職員全員で周知出来るよう、普及研修の実施も継続している。実施する事で様々な困難ケースも対応出来るようになっており、職員のスキルは年々高まっている。今後も特定事業所加算の算定事業所として質の高いケアマネジメントが実施出来るよう自己研鑽に努める。

⑥連携強化に努める

今年度においても体調不良時・入退院・困難ケース等にて、他事業所、医療関係者、地域包括 オレンジチーム等に助けられたケースが多数あった。色々な助言や支援、連携を頂く事で、事業所としてのスキルアップや経験値も高まっている。今後においても連携を心がけ、利用者・家族がより安心出来るよう、より良い支援に繋げる。事業所内においても「相談しやすい環境」を意識し情報共有に努めた。職員同士互いにフォローしあい、報告・連絡・相談を常に行なう事で、自身の担当以外の利用者の把握もできている。職員間での信頼関係もより一層深まり、それにより得られたチームワークを次年度においても維持・継続し、新規獲得も含め、より良いケアマネジメント業務が実施出来るよう努めていく。

⑦新規利用者利用者の確保と安定した利用者数の確保

各地域包括やオレンジチーム、病院からの依頼が多くあった事や、以前担当していた利用者の家族より連絡を頂く事も多くあり、今年度の担当ケースは予防ケースも含め一カ月平均、おおよそ200件となった。次年度においても更に多くの依頼があるよう、事業所の情報を伝えていき、令和3年度は平均210件を目指す。

また、いつでも新規受け入れが出来るよう、事務作業の効率化を図る。

⑧経費削減対策を強化

必要以上の事務用品の使用や、印刷ミス・その他無駄がないように各職員がそれぞれ意識を高め実施出来ている。次年度においても更に意識を高めていく。

○令和2年度スローガン

- ・声かけて 繋いでいこう地域の『輪』

必要とされる事業所を目指します

- ・大切なのは気付く事！ 同じ目線で支えます
- ・連携強化！

ケースを全員で共有し、安定したサービスの提供を目指します

○令和 2 年度 外部研修

開催日	演題 議題（主催者）	実施内容	出席者
9 月 25 日	喜連地域包括支援センター	①成年後見人の仕事について ②平野区在宅医療・介護連携相談支援室コーディネーターより ③喜連包括より情報提供 ＊認知症高齢者等見守りメール ＊介護保険料還付を装った詐欺	松浦
11 月 12 日	市老連（ZOOM 研修）	多種職連携研修 施設・事業所内の接遇とケアサービスの質の向上	松本
11 月 13 日	各地域包括支援センター（ZOOM 研修）	自立支援ケアマネジメント伝達・ケアプラン点検研修	河本
R03 2 月 20 日	平野区地域包括支援センター 合同開催	①自立支援型ケアマネジメント 模擬検討会議の伝達 ②包括からの情報提供 ③アドバンス・ケア・プランニング研修	松浦
3 月 16 日	平野区居宅介護支援部会 研修部（ZOOM 研修）	法改正・法主改定とケアマネジメント	河本 河越
3 月 17 日	シルバー新聞社（ZOOM 研修）	介護保険法改正について 業務 の変更点と今後の展望	長原 松本

○業績について（前年度との比較）

・令和 元年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
介護	2,645 (154)	2,627 (151)	2,715 (154)	2,755 (158)	2,625 (154)	2,711 (156)
予防	81 (19)	85 (20)	96 (22)	106(25)	103(24)	110(26)
区分変更	(2)	(4)	(5)	(4)	(7)	(4)
合計	2,727 (173)	2,712 (171)	2,811 (176)	2,826 (180)	2,728 (178)	2,822 (182)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護	2,602 (151)	2,753 (158)	2,728 (157)	2,714 (157)	2,840 (164)	2,960 (170)
予防	134 (31)	127(30)	133(31)	131(31)	145(34)	140 (32)
区分変更	(3)	(3)	(5)	(10)	(8)	(9)
合計	2,737 (182)	2,881 (188)	2,910 (188)	2,846 (188)	2,986 (198)	3,100 (202)

・令和 2年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
介護	3,053 (176)	2,940 (171)	3,204 (184)	3,339 (191)	2,998 (172)	3,148 (183)
予防	118 (28)	109 (26)	95(22)	87(20)	76(18)	81(19)
区分変更	(5)	(8)	(9)	(3)	(13)	(5)
合計	3,171 (204)	3,050 (197)	3,299 (206)	3,426 (211)	3,074 (190)	3,229 (202)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護	3,202 (183)	3,220 (184)	3,301 (188)	3,145 (181)	3,069 (177)	3,342 (191)
予防	80 (19)	81(19)	72(17)	63(15)	67(16)	80(19)
区分変更	(4)	(3)	(2)	(1)	(5)	(2)
合計	3,282 (202)	3,301 (203)	3,373 (205)	3,208 (196)	3,208 (193)	3,422 (210)

※単位：千円

※（ ）は利用者数

◎喜連西小規模多機能型居宅介護施設ゆたか

年度初めは、登録数16名でのスタートだったが、一般デイサービスからの移行で4名の増加があり、施設入所で5名、中止で1名が退所となり年度末では14名となった。しかし、認知症症状が進み、日常生活の自立度が低下し、在宅生活が困難な為、施設入所希望の方もいるなかで出来る限りながく在宅生活を継続できるよう、利用者本人、家族、主治医と連携を取りながら、通い日数や時間、訪問回数、泊り回数の増加を検討し実施している。

通いサービスでは、新型コロナウイルス感染予防対策として、施設外・施設内の行事や外出援助は控え四季折々の壁紙作りや毎月のカレンダー作りで季節を感じてもらっている。クラブ活動や催事では密になることを避けた工夫をして、皆様に喜んでいただいた。

また、手洗い・うがい・手指消毒・換気の強化等の徹底に努めて、感染予防対策に取り組み、今後も継続して行う。

運営推進会議は、昨年年度末の新型コロナウイルス感染予防対策として、会議は中止してきたが、収束は見込めないことから年度末の会議の開催は書面にて対応した

令和2年度の売上は4,375万円となり、昨年度と比較して61万円の減額となった。

日々の営業活動やホームページを通して、他事業所や家族の方より、新規の問い合わせは増加している。しかしながら、遠方などの理由により断らざるを得ないケースも多い。さらに当事業所においては、他の同施設に比べ面積的理由等から様々な制約を受けるため、登録人数を多く増やすことはサービス悪化に直結してしまう。令和3年度もこのジレンマを抱えながらも、個々の多様化するニーズにできるだけ対応することができるよう心掛け、利用者様の状況を十分考慮した上で、利用登録者増加を目指していく。

○令和2年度の年間スローガン、行事報告

令和2年度の年間スローガン、行事報告に関しては、デイサービス・認知症対応型デイサービスを参照。

○業績について（前年度との比較）

・令和 元年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
収入	3,985 (16)	3,825 (14)	3,557 (13)	3,795 (14)	3,816 (15)	3,787 (14)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
収入	3,957 (15)	3,706 (15)	3,496 (14)	3,288 (14)	3,193 (13)	3,957 (15)

・令和 2年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
収入	4,070 (16)	3,941 (16)	3,964 (15)	3,453 (14)	3,224 (14)	3,377 (13)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
収入	3,568 (14)	3,688 (15)	3,614 (15)	3,606 (15)	3,687 (16)	3,564 (14)

※単位：千円

※（ ）は利用者登録数

◎ゆたか訪問介護ステーション

令和 2 年度は新型コロナの感染が拡大し、これまでに経験をした事のない状況で開始した。

手探りで支援をする中、感染予防対策として法人・事業所・個々のスタッフ単位での感染拡大・予防策に努めた。事務所内には、オゾン発生装置や空気清浄機、入口網戸の設置をはじめ、日々の事務所内消毒作業、各ヘルパーに手洗いソープや消毒液の配布を実施。常時マスク着用を義務付け、利用者宅での感染対策を講じ、現在も継続して行っている。

当初、感染が拡大する中で利用者の不安は大きく、利用控えをする方や発熱等の症状があり訪問サービスが実施できない事もあった。サービス休止中は毎日の電話連絡や、担当ケアマネジャーや家族と連携する事で絶え間ない安否確認を実施する等の取り組みを行ない、利用者や家族の不安軽減を図り、スムーズなサービス再開ができるよう努めた。

このような状況のなか、業務改革として前年度より進めてきた利用料口座振替の開始と、キャンセル料徴収を 4 月より開始。事前に丁寧な説明を重ねてきた事により、大きなトラブルなくスムーズに導入することができた。これにより、集金業務の軽減が実現できると共に、利用者からの当日キャンセルも減少傾向となり、シフト変更業務の改善にも繋がった。

ヘルパー研修については、これまでのように事務所内での開催が困難となった事で今までと違う開催方法について模索した。リモート研修を開催するにあたり、全スタッフに通信機器や通信環境についてアンケートを実施。約半数以上のスタッフがリモート研修への参加が可能であるとの結果を受け、研修の内容、方法を検討。高齢なヘルパーが多い事もあり、どうしてもリモート研修に参加できないスタッフの事も考え、事業所内での少人数開催と同時にリモートでの研修を実施した。また、研修会とは別に、厚生労働省作成の感染対策ビデオを配信する等の工夫を行っている。回を重ねる毎に改善点を出し合う事でより充実した研修が開催できるよう、次年度も継続していきたい。

人員については、諸事情により退職するスタッフがあり特に下半期に入る頃には人員不足に悩むこととなった。定期的なポスターの貼り替えや、スキルアップを視野に入れた登録ヘルパーへの雇用形態変更の打診など、様々な取り組みを実施。特に、地域の求人イベントに参加することで、数名のスタッフを雇用することができ、年度末においては、サービス提供責任者 7 名、登録ヘルパー 38 名、事務員等併せ、計 47 名体制と徐々に安定した運営ができるようになっていく。

しかしながら、人員不足・コロナ感染流行の余波は大きく、新規依頼に対応できないケースや、やむなく他事業所へ移行するケースが相次ぎ、全サービスにおいて収益は大きく減少。年間収益は 13, 131 万円を計上するに留まった。

次年度においては、介護保険・障がい福祉サービス共に制度改正があり情報収集を行いながら柔軟に対応できるよう努めるとともに、利用者・家族が安心して在宅生活を送れるよう、また、スタッフが働きやすい環境の整備を引き続き進めていく。

○令和 2年度 スローガン

～Constructive～みんなの明日のために

- ・ひとりひとりが「繋ぐ人」 ひとつひとつを「ポジティブに」
- ・建設的な考え・意見・行動で自分にできる事を考えよう

○令和 2年度 研修会

ヘルパー研修

- 4月 介護職の職業倫理とコンプライアンス
- 6月 ネット時代のプライバシー保護・個人情報を守るために
- 8月 緊急時の対応について
- 10月 訪問時の心得と接遇マナーについて
- 12月 コロナ禍での認知症の特徴と関わり方
- 2月 訪問介護のあいまいゾーン

○業績について（前年度との比較）

・令和 元年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
介護	9,181 (124)	9,092 (129)	8,987 (128)	9,772 (127)	9,289 (124)	8,945 (123)
予防	1,709 (89)	1,723 (90)	1,810 (94)	1,774 (93)	1,791 (93)	1,808 (95)
総合支援	1,889 (47)	1,973 (50)	1,732 (49)	1,984 (49)	1,970 (50)	2,057 (52)
保険外	35 (5)	40 (9)	35 (8)	36 (8)	32 (7)	41 (11)
合計	12,815 (265)	12,830 (278)	12,564 (279)	13,567 (277)	13,082 (274)	12,853 (281)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護	8,986 (122)	8,804 (123)	8,601 (126)	7,822 (124)	7,841 (119)	8,186 (122)
予防	1,911 (94)	1,947 (95)	1,883 (92)	1,814 (88)	1,759 (87)	1,697 (84)
総合支援	2,399 (55)	2,343 (52)	2,383 (53)	2,271 (49)	2,177 (46)	2,428 (49)
保険外	52 (10)	29 (9)	23 (9)	39 (10)	40 (12)	25 (7)
合計	13,348 (281)	13,124 (279)	12,892 (280)	11,974 (271)	11,818 (264)	12,338 (262)

・令和 2年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
介護	7,656 (117)	7,757 (113)	7,951 (117)	8,013 (111)	7,380 (107)	7,259 (105)
予防	1,674 (82)	1,600 (78)	1,537 (78)	1,456 (75)	1,422 (72)	1,401 (73)
総合支援	2,270 (45)	2,077 (41)	2,289 (47)	2,269 (45)	2,196 (42)	2,181 (44)
保険外	65 (25)	41 (13)	42 (18)	43 (25)	36 (18)	52 (25)
合計	11,657 (269)	11,477 (245)	11,821 (260)	11,782 (256)	11,035 (239)	108,94 (247)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護	7,565 (104)	6,971 (105)	7,360 (103)	6,769 (104)	6,830 (102)	7,769 (103)
予防	1,398 (73)	1,408 (73)	1,346 (70)	1,317 (68)	1,337 (68)	1,315 (68)
総合支援	2,190 (46)	1,732 (40)	1,785 (40)	1,747 (37)	1,632 (37)	1895 (38)
保険外	39 (20)	31 (15)	50 (20)	33 (19)	57 (19)	55 (22)
合計	11,914 (243)	10,144 (233)	10,541 (233)	9,867 (228)	9,858 (226)	11,035 (231)

※（ ）内は利用者登録数

※ 単位：千円

◎障がい者相談支援センターゆたか

令和 2 年度は登録人数 51 人で開始した。

前年引き続き、指定特定相談支援及び指定障がい児相談支援として、本人や家族の意向を尊重しながら必要なサービスが利用できるよう、ニーズを聞き取りは丁寧に行うよう努めた。計画の作成やモニタリング書類の作成は速やかに行い、緊急時の対応や面談の時間確保が出来るよう努めた。

登録者が利用されている事業所と緊密に連絡を取り、利用者情報・近況の連絡・相談を常に行う事により、きめ細やかな支援ができたと言える。

令和 2 年度の事業の傾向としては、支援学校の卒業予定者や市内他区からの転入者等、支援機関の選定から始める必要がある利用者が多かった。それに伴い、今まで付き合いがなかった事業所との関りが増えた。また、今まで多かった基幹相談センターからの依頼に加え、事業所からの依頼も増えた。

生活保護を受給している介護保険と障がい福祉の併用者、所謂「みなし 2 号」のケースがあり、区内地域包括支援センター、居宅介護支援事業所との連携を行う機会があった。このことから、各関係機関や事業所との信頼関係や連携を図ることで専門的な知識が強化できたと考えられる。

年間を通して、売り上げ目標は達成できた。登録者は、年度末時点で 10 名増加し、61 名となった。

○令和 2 年度 スローガン

～Constructive～みんなの明日のために

- ・ひとりひとりが「繋ぐ人」 ひとつひとつを「ポジティブに」
- ・建設的な考え・意見・行動で自分にできる事を考えよう

○業績について（前年度との比較）

・令和 元年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
本計画	51 (3)	80 (5)	99 (6)	79 (5)	48 (3)	112 (7)
モニタリング*	430 (32)	396 (29)	409 (30)	421 (31)	407 (30)	480 (36)
登録者数	(54)	(56)	(58)	(58)	(58)	(61)
合計	481 (35)	476 (34)	508 (36)	500 (36)	455 (33)	592 (43)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
本計画	147 (9)	179 (11)	48 (3)	80 (5)	113 (7)	117 (7)
モニタリング*	441 (33)	335 (25)	453 (34)	466 (35)	361 (27)	424 (32)
登録者数	(62)	(60)	(61)	(61)	(61)	(60)
合計	588 (42)	514 (36)	501 (37)	546 (40)	474 (34)	541 (39)

・令和 2年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
本計画	81 (5)	115 (7)	67 (4)	64 (4)	96 (6)	96 (6)
モニタリング*	411 (31)	294 (22)	332 (25)	358 (27)	306 (23)	279 (21)
登録者数	(57)	(51)	(55)	(53)	(51)	(53)
合計	493 (36)	409 (29)	400 (36)	422 (36)	402 (29)	376 (27)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
本計画	48 (3)	118 (7)	194 (12)	80 (5)	48 (3)	179 (11)
モニタリング*	371 (28)	291 (22)	359 (27)	384 (29)	386 (29)	279 (21)
登録者数	(53)	(56)	(58)	(58)	(58)	(61)
合計	419 (31)	410 (29)	553 (39)	465 (34)	434 (32)	459 (32)

※（ ）内は該当月請求利用者数

※ 単位：千円

◎平野区喜連地域包括支援センター

当センターが開設し10年目となった。事業については新型コロナウイルスの影響が大きく、主に市民向けの研修や行事が中止になったが、インターネットを活用した研修・会議の開催など新しい取り組みも始まった。

令和3年度～8年度までのセンター運営の公募があり、大阪市の選定結果により再委託することができた。

○公平且つ中立的な業務の運営確保

平野区地域包括センター運営協議会に運営状況を報告し承認を得るとともに、委員よりでた意見を踏まえて、適切、公正かつ中立な運営を確保している。

○地域包括ケアの推進について

①認知症総合支援事業との連携

- ・定期的に会議を持ち情報共有や意見交換を行い、顔の見える環境づくりができた。
- ・認知症多職種交流会「喜連るんるん交流会」や専門職向けの研修会はコロナウィルス感染症対策のため中止となったが、市民向けに認知症ケアパスの発行の協力を行った。
- ・ひらのオレンジチームとは地域の行事での相談窓口の周知はできなかったが、金融機関に対して認知症の研修会を実施や、Youtubeにて、協認知症に対する発信を協力して行った。

②在宅医療・介護連携推進事業との連携について

- ・定期的に会議を持ち情報共有や意見交換を行い、顔の見える環境づくりができた。
- ・平野区の居宅介護支援事業所向けにACP研修を協働して開催した。
- ・平野区在宅医療ケアネットワーク委員会はコロナ感染症対策のため開催されなかった。

③生活支援体制整備事業との連携

- ・定期的に会議を持ち情報共有や意見交換を行い、顔の見える環境づくりができた。
- ・生活支援体制整備事業へ参画し、居場所づくり活動プロジェクトチームの一員として事業の推進に協力した。
- ・地域の集いの場について情報共有し、課題解決に向け連携した。

○総合相談業務

タイムリーにランチと情報共有し、各関係機関と連携しながら業務にあたった。また、広報掲示板やホームページにて相談窓口の周知をした。

- ・相談実人員 914人（うち認知症疑い 482名）
- ・延べ相談件数 8,985件（うち認知症疑い 4,281件）

○当センター単位で実施する包括的・継続的ケアマネジメント

- ・平野区介護保険事業者連絡会居宅介護支援部会の事務局としてサポートした。ブロック別交流会に関してはコロナ感染症対策のため中止となった。
- ・地域支援者交流会を開催し、地域の介護支援専門員や地域福祉活動コーディネーター、障がい支援機関とのネットワークの強化を図った。
- ・地域のインフォーマルサービスをまとめ一覧を作成し、介護支援専門員を中心に情報提供した

○権利擁護業務

- ・平野区役所やランチと協働し、高齢者虐待の早期解決にむけ協働した。また、平野区内の地域包括支援センターと合同で介護支援専門員に対して高齢者虐待予防研修を開催した。
- ・地域住民に対して地域関係者と連携し、悪質な訪問販売業者の注意喚起を行った。
- ・成年後見制度の早期活用に向け、介護支援専門員と連携し情報提供等支援を実施した。

○その他の事業

- ・ポレポレ体操は、感染症対策をしながら開催と中止を繰り返した。中止の際は体操プログラムを参加者に渡し自宅で継続してもらったり、Youtubeにて体操の動画を配信した。
- ・認知症カフェは1回開催したが、コロナウィルス感染症予防のため中止とした。代替としてYoutubeで認知症についてのお話を配信した。
- ・車いすの貸出事業を継続し、そこからの介護相談や支援につなげたケースもあった。

○介護予防支援事業について

自立支援型ケアマネジメント研修会を開催し、地域のケアマネジャーに対して自立支援型ケアマネジメントの理念や意義を伝達した。また、インフォーマルサービスの一覧表を作成しの情報提供を行った。

【ケアプラン料収入（前年度との比較）】

・令和 元年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
包括プラン	1,113 (220)	1,080 (221)	1,114 (225)	1,123 (225)	1,093 (226)	1,105 (223)
委託プラン	253 (411)	250 (405)	257 (380)	247 (379)	293 (452)	255 (400)
合計	1,366 (631)	1,330 (626)	1,371 (605)	1,370 (604)	1,386 (678)	1,360 (623)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
包括プラン	1,139 (227)	1,131 (227)	1,190 (239)	1,186 (238)	1,159 (239)	1,195 (244)
委託プラン	275 (405)	291 (437)	296 (430)	281 (430)	283 (429)	279 (434)
合計	1,414 (632)	1,422 (664)	1,486 (669)	1,467 (668)	1,442 (668)	1,474 (678)

・令和 2年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
包括プラン	1,179 (246)	1,212 (253)	1,232 (257)	1,236 (258)	1,232 (257)	1,236 (258)
委託プラン	291 (394)	299 (419)	294 (409)	279 (397)	278 (398)	275 (387)
合計	1,470 (640)	1,511 (672)	1,526 (666)	1,515 (655)	1,510 (655)	1,511 (645)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
包括プラン	1,246 (260)	1,294 (270)	1,303 (272)	1,289 (269)	1,275 (266)	1,256 (262)
委託プラン	290 (381)	240 (376)	277 (386)	242 (367)	256 (356)	278 (371)
合計	1,536 (641)	1,534 (646)	1,580 (658)	1,531 (636)	1,531 (622)	1,534 (633)

※単位：千円

※（ ）は利用者登録数

○研修報告

日時	研修名	場所	参加者
7月2日	包括的支援業務に関わる法律の理解について	天王寺区民センター	安井
8月19日	個人情報保護研修	喜連西デイサービス	三瀬・高橋
9月2日～5日間	コミュニティーソーシャルワーク実践講座	大阪市情報研修センター	安井
9月29日	ホワイトボードミーティングの手法を用いた情報共有について	大阪市情報研修センター	中西
10月2日	高齢者虐待対応研修	西成区民センター	西堀
10月7日	高齢者の支援に向けたアセスメントの視点について	天王寺区民センター	小倉
10月23日	大阪ええまちプロジェクト「行政職員向け研修会」	オンライン	中西
11月12日	多職種連携研修会	オンライン	岩田
11月13日	ケアプラン点検研修	オンライン	岩田

12月2日	新型コロナウイルス感染症対策オンラインセミナー	オンライン	松岡
1月8日	介護予防ケアマネジメント推進研修	オンライン	中西
1月25日	地域包括支援センター職員研修	ウェブ配信	小倉
1月30日	感染症予防対策について一緒に語り合いませんか	オンライン	中西
2月8日	権利擁護支援の地域連携ネットワークにおける研修	ウェブ配信	安井
2月9日	認知症の人の支援について	中央区民センター	安井
2月20日	平野区自立支援ケアマネジメント伝達研修	オンライン	西堀
3月6日	BCP研修	ウェブ配信	松岡
3月16日	平野区居宅介護支援部会研修	オンライン	三瀬・芳村
3月16日	地域包括ケア担当職員セミナー	ウェブ配信	安井・中西

○令和2年度スローガン

- ・その人の能力を最大限引き出せるよう自立支援を意識して対応します。
- ・地域、関係機関との連携を密にし、協働できる体制を強化します。
- ・タイムリーに情報共有をし、みんなで考え丁寧な支援を実践します。

◎介護付有料老人ホームゆたか

○基本方針

ご入居者様、ご家族様に満足して頂けるサービスの提供を目指す。

○取り組みについて

令和 2 年度においては、『ご入居者様、ご家族様に満足して頂く』を目標に、入居者と職員が共に喜びのある時間を過ごせるよう、様々な取り組みを行ってきた。

5 年目を迎える中、新型コロナウイルスの流行により、外出行事を自粛、外出行事の代わりに施設内行事への変更を行った。又、家族の面会についても制限を設けさせて頂くなど、入居者、家族に多大なるご不便をおかけする形となった。

そんな中、入居者の高齢化や平均介護度の上昇、ADL の低下など、様々な問題と直面しながら、適宜業務マニュアルの改善、サービス内容の変更、入居者の状況に合わせたケアが提供できるよう、職員会議を開き検討してきた。日常生活の変化に柔軟に対応し、その時、その人に何が必要か、【その人らしい、自分らしさ】を真剣に考え対応してきたと言える。

外出が出来ない状態であっても、どのような事が入居者の楽しさにつなげる事が出来るのか、入居者と職員が一緒になって共に楽しく過ごせる時間を作るにはどうすれば良いかなどを検討し、毎週にわたり行事や取り組みを行っている。

人員に関しては、正職員やパート職員の退職もあり、新規職員の受け入れを実施しながら都度、対応を重ねている。適宜実施した職員研修の中では、様々な内容を取り上げ職員のスキルアップにつなげる事ができた。

ハード面では常時、設備の安全点検を実施しながら、定期的な専門業者による点検や修理、備品の整備等を行っている。又、空気清浄機やオゾン発生器などを購入し感染予防にも力をいれた。防災・消防訓練を実施する事で、職員・入居者共に、防災等への意識付けができ、いざという時の対応について研鑽している。

このような取り組みを行う中で、特に入居者が減る事もなく満床に近い状態を維持しながら運営する事ができたといえる。

施設での暮らしにおいては、日常生活がいかに安全で安心した毎日であるか、また日々の生活の中で、入居者個々が自分らしい楽しみを見つける事ができる環境であるか、が大事だと考える。次年度に向けては、入居者により、充実した毎日を過ごして頂けるよう、外出機会の確保やレクレーションの充実等、満足度の高い安心・安全な暮らしを提供できるよう職員が協力しあいながら運営していきたい。

○ボランティア受け入れ

施設内行事に演奏のボランティアを受け入れ

※コロナウイルス流行により、ポイント事業によるボランティアは中止

○施設内研修・施設外研修

5月10日	オムツ・排泄基礎知識について
7月13日	介護士の接遇マナーとコミュニケーション
9月14日	お薬の基礎知識について～入居者様の服用されているお薬～
10月12日	職場における人間関係を考える ～チームにおけるコミュニケーション～
11月 6日	身体拘束ゼロ推進委員養成研修
11月 9日	認知症の基礎研修
12月11日	身体拘束ゼロ推進委員養成研修
12月14日	介護にかかわるあなたの為の接遇
1月11日	身体拘束について考える
2月 8日	感染予防の基本 手指消毒、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染防止
3月 8日	虐待防止委員会 ～虐待とは～

7、施設内行事・施設外行事

月	日	施設内行事・施設外行事
4	4	春のお楽しみ会 理事長特製天ぷら ※花見の代替え
	19	消防訓練
5	4・5・6	しょうぶ湯
	20	お楽しみ会 お刺身、ホールケーキ、紙飛行機飛ばし ※外食ツアーの代替え
6	21	カラオケ大会
7	3	夏のお楽しみ会 理事長特製カツカレー&エビフライ ※外食ツアーの代替え
	7	七夕祭り
	26	ハーモニカグループ（ボランティア）
	29	アイスコーヒーの日
8	5	アイスコーヒーの日
	26	夏祭り かき氷フェスタ
9	2	アイスコーヒーの日
	21	敬老会
10	20	運動会 理事長特製ちらし寿司
	28	ぜんざいの日
11	18	秋のお楽しみ会 理事長特製すき焼き
	23	消防訓練
12	2	おやつ作り プリンパフェ
	21・22・23	ゆず湯
	23	クリスマス会

1	1	お正月 書初め・福笑い
	2 0	おやつ作り クレープ
2	2	節分 ぜんざいの日
	1 7	おやつ作り
3	3	ひな祭り
	1 7	防災訓練

※その他：ゆたリンピック・誕生会を毎月開催

○職員の概要

常勤職員 13名（令和 3年 3月31日時点）

パート職員 8名（令和 3年 3月31日時点）

○入居者様の概要

入居者数 30名（令和 3年 3月31日時点）

平均介護度 3.1（令和 3年 3月31日時点、要支援者除く）

平均年齢 87.7歳（令和 3年 3月31日時点）

○令和 2年度のスローガン

～入居者様に満足して頂く為に～

- ・自分らしい生活を送れる様、寄り添う介護
- ・笑顔であいさつ・気配り・目配り・心配り
- ・ADLの維持向上を図り、異常の早期発見
- ・みんなで作ろう、楽しい職場

○業績について（前年度との比較）

売上について（入居者数は短期利用の方も含む）

・令和 元年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
入居者数	29名	29名	28名	28名	31名	29名
介護保険	6,243	7,076	6,713	6,906	6,582	6,325
家賃等	5,036	5,195	5,051	5,020	5,035	5,168
合 計	11,279	12,271	11,764	11,926	11,617	11,493
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居者数	30名	30名	30名	29名	28名	29名
介護保険	6,937	6,595	6,440	7,516	6,328	6,872
家賃等	4,941	4,928	4,768	4,043	4,674	4,784
合 計	11,878	11,523	11,208	11,559	11,002	11,657

・令和 2年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
入居者数	30名	30名	30名	31名	30名	30名
介護保険	6,889	6,921	6,901	7,220	7,167	6,976
家賃等	4,950	4,957	4,894	5,006	4,848	4,969
合 計	11,840	11,879	11,795	12,227	12,016	11,945
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居者数	30名	30名	30名	30名	30名	30名
介護保険	7,209	6,787	6,811	7,186	6,519	7,323
家賃等	5,013	5,028	4,945	4,861	4,913	4,859
合 計	12,223	11,815	11,757	12,047	11,433	12,182

※単位：千円

◎カリーノ保育園

令和 2 年度は年間平均 100 名（障がい児 3 名を含む）の在園児数になる。急遽、転居での異動が続いたが、役所と密に連絡を取り合い待機児童の状況等、情報を得る中で、入園に繋げていくことができた。

年々、年齢別園児数のバランスが安定してきているので、好調であった前年度を上回り、より安定した運営をすることができた。

○保育内容総括

保育面では、新型コロナウイルスの影響で行事が中止や延期となる事もあったが、状況に応じてやり方や感染対策を徹底しながら、旬の味覚等を堪能できる体験として、様々な食育体験を行った。子ども達からとても好評であったので今後も記憶に残る体験を企画し、継続していきたい。

社会体験では「自己選択」体験の一環として、31 アイスクリームのメニューを園内の大型プロジェクターを使用し、食べたいものを自己選択してから、購入しに行った。感染対策や短時間で行う方法など、今までとやり方を変えて取り組めたので今後に繋げていきたい。又、バイキングレストラン、スーパーでの買い物を予定していたが、新型コロナウイルスの影響で中止となってしまう、園内での買い物体験を行った。その中で子どもたちが個々で考える機会を持ち、社会性、考察力等を育む良い体験ができた。

特別保育（英語・HIPHOP・学習・お菓子作り・サッカー教室）では子ども達が積極的に取り組む中で、多くの刺激や学びがあり、心身共に成長する姿が見られた。

今後も動植物の飼育や栽培や状況に応じて、他園交流、世代間交流、地域交流等のイベントや活動を通して、カリーノ保育園だからできる実体験を大切にし、生きる力を育んでいきたい。

○課題分析

今後の課題として、保育士確保が年々困難になってきている。保育実習（高校、短大等）やボランティア等を通じて、早い段階からアプローチを行い、保育士養成校、ハローワーク等とより連携を深め、人材確保、人材育成に努めていきたい。

又、新型コロナウイルスの影響で、今後も様々な行事などが延期・中止となることが予想されるが、少しでも子ども達が豊かな経験をできるように方法を変えながらできるように考察していきたい。

今後も引き続き動向を見据えながら当園児の年齢バランスを考え、保育園を安定維持できるように努めたい。

○園児数推移

・令和 元年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
0歳児	10 ()	10 ()	10 ()	11 ()	11 ()	11 ()
1歳児	14 ()	14 ()	14 ()	15 ()	15 ()	16 ()
2歳児	17 ()	17 ()	17 ()	17 ()	17 ()	17 ()
3歳児	20 ()	20 ()	20 ()	20 ()	20 ()	20 ()
4歳児	18 (1)	18 (1)	18 (1)	18 (1)	18 (1)	18 (1)
5歳児	22 ()	22 ()	22 (1)	22 (1)	22 (1)	22 (1)
合 計	101 (1)	101 (1)	101 (2)	103 (2)	103 (2)	104 (2)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	11 ()	11 ()	11 ()	11 ()	11 ()	10 ()
1歳児	16 ()	16 ()	16 ()	16 ()	16 ()	16 ()
2歳児	17 ()	17 ()	17 ()	17 ()	17 ()	17 ()
3歳児	20 ()	20 ()	20 (1)	20 (1)	20 (1)	20 (1)
4歳児	18 (1)	17 (1)	17 (1)	17 (1)	17 (1)	17 (1)
5歳児	22 (1)	22 (1)	22 (1)	22 (1)	22 (1)	22 (1)
合 計	104 (2)	103 (2)	103 (3)	103 (3)	103 (3)	102 (3)

・令和 2年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
0歳児	11 ()	11 ()	11 ()	11 ()	11 ()	11 ()
1歳児	13 ()	14 ()	15 ()	15 ()	16 ()	16 ()
2歳児	17 ()	17 ()	17 ()	17 ()	17 ()	17 ()
3歳児	19 (1)	19 (1)	19 (1)	18 (1)	18 (1)	18 (1)
4歳児	22 (1)	22 (1)	22 (1)	22 (1)	22 (1)	22 (1)
5歳児	18 (1)	18 (1)	18 (1)	17 (1)	17 (1)	17 (1)
合 計	100 (3)	101 (3)	102 (3)	100 (3)	102 (3)	102 (3)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	11 ()	11 ()	11 ()	11 ()	11 ()	11 ()
1歳児	15 ()	15 ()	15 ()	15 ()	15 ()	15 ()
2歳児	17 ()	17 ()	17 ()	17 ()	17 ()	17 ()
3歳児	18 (1)	18 (1)	18 (1)	18 (1)	17 ()	17 ()
4歳児	22 (1)	22 (1)	22 (1)	22 (1)	22 (1)	22 (1)
5歳児	17 (1)	17 (1)	17 (1)	17 (1)	17 (1)	17 (1)
合 計	101 (3)	101 (3)	101 (3)	101 (3)	100 (2)	100 (2)

※単位： 名

※ () 内は障がい児

	園児数	令和 2年度 年 間 行 事	
4月	100人	入園式・春の遠足(中止)	異年齢保育開始
5月	101人	こいのぼりの集い・検尿	
6月	102人	運動会(中止)・保育参加(中止)・ブラッシング指導	
7月	100人	プール開き・歯科検診・内科検診 保育実習＜大阪芸術短期大学＞・クッキング保育(ハンバーグ&茶碗蒸し)	
8月	102人	プール終了・救命講習	
9月	102人	第三者評価受審 保育実習＜大阪芸術短期大学＞	
10月	101人	ハロウィン・保育実習＜大阪芸術短期大学＞ 秋の遠足(3歳児)＜平野公園＞	
11月	101人	園外保育(2歳児)＜平野西公園＞・職場体験(摂陽中学校) 秋の遠足(4・5歳児)＜長居公園＞延期 さんま&焼き芋パーティー(3～5歳児)	
12月	101人	内科検診・保育実習＜城南学園高校＞・クリスマス会・年末年始休園	
1月	101人	保育始め・たこあげ大会(3・4・5歳児)・発表会(無観客)・クッキング保育(ちらし寿司&天ぷら&クッキー)	3歳児お昼寝順次終了
2月	100人	節分豆まき・手巻き寿司パーティー 喜連西小学校学校探検(5歳児)・手洗い指導・保育参加(懇談のみ) 保育実習＜大阪芸術短期大学＞	
3月	100人	ひなまつりの集い・ちゃんこ鍋パーティー(4・5歳児) お別れ遠足(3・4・5歳児 松原園合同)＜蜻蛉池公園＞・園外保育(2歳児)＜平野西公園＞ お泊り保育(5歳児)・社会体験＜買い物体験＞(5歳児)・お弁当保育(0・1歳児) 卒園式・茶話会(5歳児)	↓ ↓

・その他の活動

英語遊び	週 5 回 (外国語講師)		
学習遊び	週 2 回		
ヒップホップダンス	月 4 回		
おやつ作り	月 1 回		
サッカー教室	月 1 回		
巡回指導	月 1 回		
避難訓練	月 1 回	担当	伊地知・高山
世代間交流	年 3 回程度	喜連西デイサービス	担当 高田・倉角
異年齢児保育	月 1 回程度	お楽しみ会	担当 仲里・大西・高山・伊地知・今中 他
保育所体験	月 1 回程度	おやつ作り	担当 松本 他
	随時	保育体験	担当 西野

◎松原カリーノ保育園

当年度は、139人（障がい児7人、要保護児童6人を含む）で、前年度よりも2名多い園児数で始まった。また、年度途中の入所要件調査は新型コロナウイルスの影響を考慮された事により、利用辞退通告を受けた人はいなかった。これにより安定した園児数を保つことができ過去最高の平均園児数141人に達した。

○保育内容総括

保育を運営する上では、新型コロナウイルス感染予防対応等に追われた1年であった。常時「with コロナ」を念頭におき通常保育は勿論、保護者が参加する行事を開催する際には、前もって「人数制限をすること」や「当日発表をするもの」と「収録のみで終わるもの」そして座席を「抽選で決めること」等を周知したことにより、当日は密を避け大きなトラブル、苦情に繋がらなかった。

今回大きく見直した行事の取り組みに関しては「安全な環境の確保・時間短縮と内容の維持」の達成に繋がったと考える。これらを踏まえて今後も行事の開催法や保育の取り組みを子ども達、保護者、職員の負担を配慮した上で、改めて考案し合い明確化していきたい。

一年間を通して「より安心・安全な保育環境の提供と職員育成の強化」を目標に掲げて「保育の質の向上」と「保育士の意識の改善」を目指したが、研修も延期・中止等の連続で計画通り進めることができなかった。また他施設・他機関職員と意見交換をする機会も減り残念な1年だったが、リモートで参加した就職フェアは経験の少ない職員が中心に全職員が支え、これまでと違った形の学びとなり保育士として大きな成長に繋がった。

当園の特色ある保育の1つに挙げられるクッキング保育の維持は、感染予防対策を取りながら単に食べるだけではなく、調理器具の扱い方、マナーの習得となり意欲・関心・態度を養い「子ども達自身の学び」と「生きる力」に繋がった。また、中止されていたお泊り保育を9ヵ月遅れの5歳児が卒園後の4月に実施し、卒園児達の満面の笑みをいろいろな場面で見ることができた。

○課題分析

松原市の平成29年度の出生率が低かった為、極端に2歳児が少なく、各クラスにおける園児数のバランスが歪になってきている。今後も行政に働きかけていくことにより解消に努めていかねばならない。また、終わりの見えない新型コロナウイルスの影響で運営も更に厳しくなることが予想できる。情報ネットワークを構築し、流動的な社会の流れ・保育制度に迅速な対応し、最高の環境を提供できるよう最善の努力を尽くしていく。

令和3年度は140人でスタートできる事を喜び、より丁寧で個々の成長を受け止める保育、子どもの主体性が重視される保育、特色ある保育を進めていく。

○園児数推移

・令和 元年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
0歳児	10 ()	11 ()	11 ()	11 ()	13 ()	13 ()
1歳児	23 ()	23 ()	24 ()	23 ()	23 ()	23 ()
2歳児	25 ()	25 ()	25 ()	25 ()	25 ()	25 ()
3歳児	25 ()	25 ()	25 ()	25 ()	25 ()	25 ()
4歳児	29 (3)	29 (3)	29 (3)	29 (3)	29 (3)	29 (3)
5歳児	25 (2)	25 (2)	25 (2)	25 (2)	25 (2)	25 (2)
合 計	137 (5)	138 (5)	139 (5)	138 (5)	140 (5)	140 (5)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	12 ()	14 ()	15 ()	16 ()	16 ()	17 ()
1歳児	23 ()	23 ()	22 ()	20 ()	20 ()	20 ()
2歳児	25 ()	25 ()	25 ()	25 ()	25 ()	25 ()
3歳児	25 ()	25 ()	25 ()	25 ()	25 ()	25 ()
4歳児	29 (3)	29 (3)	29 (3)	28 (4)	28 (4)	28 (4)
5歳児	25 (2)	25 (2)	25 (2)	25 (2)	25 (2)	25 (2)
合 計	139 (5)	141 (5)	141 (5)	139 (6)	139 (6)	140 (6)

・令和 2年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
0歳児	12 ()	12 ()	12 ()	12 ()	13 ()	15 ()
1歳児	25 ()	25 ()	25 ()	24 ()	24 ()	24 ()
2歳児	20 ()	20 ()	20 ()	20 ()	20 ()	21 ()
3歳児	26 (1)	26 (1)	26 (1)	26 (1)	26 (1)	26 (1)
4歳児	28 (2)	28 (2)	28 (2)	28 (2)	28 (2)	28 (2)
5歳児	28 (4)	28 (4)	28 (4)	28 (4)	28 (4)	28 (4)
合 計	139 (7)	139 (7)	139 (7)	138 (7)	139 (7)	142 (7)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	15 ()	15 ()	15 ()	15 ()	15 ()	15 ()
1歳児	24 ()	24 ()	24 ()	24 ()	24 ()	24 ()
2歳児	21 ()	21 ()	21 ()	21 ()	21 ()	21 ()
3歳児	26 (1)	26 (1)	26 (1)	26 (1)	26 (1)	26 (1)
4歳児	29 (2)	29 (2)	29 (2)	29 (2)	29 (2)	29 (2)
5歳児	25 (4)	25 (4)	25 (4)	25 (4)	25 (4)	25 (4)
合 計	142 (7)	142 (7)	142 (7)	142 (7)	142 (7)	142 (7)

※単位： 名

※ () 内は障がい児

令和 2年度 行事報告書

月	園児数	行事				
4月	139	4/1(水)・(縮小)入園式 ・(中止)各学年クラス会 4/10(金)・進級式・離任式 ・(中止)春の園外保育(3歳児)＜新町南公園＞ (4・5歳児)＜大泉緑地＞				お菓子作り(4・5歳児)
5月	139	5/1(金)・(縮小)子どもの日の集い ・各学年個人懇談(希望制)・蛭虫検査・検尿 5/12(火)・手洗い指導 ・(中止)社会見学(5歳児)＜キッズプラザ＞ ・(中止)保育参加 ・(中止)泉小川いちご農園いちご狩り(5歳児) ・(中止)カレーパーティー(4・5歳児)・手洗い指導 ・(中止)交通安全指導(松原警察署来園なし) ・(中止)避難訓練(松原消防署来園なし) ・(中止)松原第三中学校 職業体験(3名 2日間)				異年齢保育開始(3・4・5歳児)
6月	139	6/4(木)・地域いちご狩り(4・5歳) 6/11(木)・歯科検診 6/24(水)・内科検診 ・ブラッシング指導 ・(中止)中央小学校5年生 職場体験 ・(中止・延期)夏遠足＆お泊り保育(4・5歳児本園合同) ・(中止)田植え(5歳)				
7月	138	7/7(火)・七夕の集い(乳児)・(中止)七夕コンサート 7/8(水)・七夕の集い(幼児) 7/22(火)・お祭りごっこ 7/23(木)・プール開き				
8月	139	・プール遊び 8/6(木)・クッキング保育(5歳 ハンバーグ) 8/31(月)～9/12(土)・保育実習(常磐大学 1名)				
9月	142	9/1(火)～9/14(月)・保育実習(常磐短期大学 2名) ・(中止)園内研修(講師:中央小学校校長) ・運動会総合練習 ・(中止)松原第三中学運動会(5歳児)				
10月	142	10/3(土)・(縮小)運動会・各学年クラス会(3・4・5歳のみ) 10/27(火)・秋の遠足(2歳児)＜東新町第2公園＞ 10/29(木)・秋の遠足(3・4・5歳児)＜大泉緑地＞ ・(中止)松原中学校 職業体験(2人 2日間) ・(中止)稲刈り(5歳児) ・(11/18延期)さつまいも堀り(4・5歳児) ・(中止)サプライズ遠足(5歳児)				5歳児 昼寝終了
11月	142	11/4(水)～11/17(火)・保育実習(常磐短期大学 2名) 11/6(金)・獅子舞 11/10(火)・手洗い指導 11/19(木)・サンマパーティー・焼き芋 11/25(水)・中央小学校秋祭り(5歳児) ・(中止)松原第二中学校 職場体験 ・(中止)園外保育(4歳児本園合同なし)＜大泉緑地・バイキングなし＞ ・(中止)ヒューマンタウンフェスティバル(5歳児) ・(中止)中央小学校交流会(幼児/1年生) ・(中止)園外保育(5歳児本園合同)＜電車 奈良公園＞(3歳児)＜天王寺動物園＞				
12月	142	12/2(水)・内科検診 12/3(木)・ブラッシング指導 12/4(金)・カレーパーティー(3・4・5歳児)・サプライズジャム作り 12/18(金)・サンタクロース来園 12/30(水)～年末年始休園 ・(中止)保育参加 ・(中止)防犯教室(松原警察署来園) ・(縮小)避難訓練(松原消防署来園なし) ・(中止)観劇「一芸ボランティア ジャビジャビ」				
1月	142	1/4(月)保育初め 1/19(火)・クッキング保育(5歳 ちらし寿司) ・(中止)中央小学校交流(5歳児/1年生・5年生)				
2月	143	2/2(火)・節分豆まき・個人懇談(希望制) 2/2(火)～2/16(火)・保育実習(大阪芸術短期大学 1名) ・(縮小)生活発表会総合練習 2/16(火)・ちゃんこ鍋パーティー(4・5歳) (縮小)生活発表会(0・1歳中止)				
3月	143	3/8(月)・(縮小)コマ回し大会(幼児・乳児別) 3/12(金)・お別れミニ運動会(乳児・幼児別)＜園庭＞ お別れ会 3/17(水)・お別れ遠足(2歳児)＜東新町公園＞ 3/23(水)・お別れ遠足(1歳児)＜東新町第2公園＞ 3/23(水)・お別れ遠足(4歳児・5歳児本園合同)＜トンボ池公園＞ 3/24(木)・お別れ遠足(3歳児)＜久宝寺緑地公園＞ 3/27(土)・(縮小)卒園式・ありがとうの会・(4/3延期)お餅つき ・(縮小)各学年クラス会(2歳・5歳のみ) ・(中止)ひなまつり交流(5歳児/地域高齢者) ・(4/3延期)社会体験(5歳児・おやつ購入) 4/2(金)～4/3(土)・お泊り保育(卒園児)	↓↓		↓	↓

◎社会福祉充実計画についての報告

令和 2 年度の 3 か年目の事業計画として、職員給与充実事業 1, 0 0 0 万円・職員育成事業 3 0 0 万円を見込み、社会福祉の充実にあたった。

3 年目の実績については、人件費：前年比 3 5 5 万円増しの 5 8, 3 2 6 万円で、平成 2 9 年度（平成 3 0 年 3 月末日）を起点とした投資額累計 1 0, 4 5 9 万円。研修費等：前年比 1 5 万円減の 2 1 万円で、平成 2 9 年度を起点とした投資額累計－3 千円となり、人件費＋研修費等の累計額 1 0, 1 5 9 万円となった。当初充実計画では、年間投資額を 1, 3 0 0 万円の 3 年間の累計 3, 9 0 0 万円としていたので、6, 5 5 9 万円の増加となった。

職員給与充実事業については、ここ数年職員人材不足が慢性化しており、給与が常軌を逸する程に上昇している。しかしながら、当年度は訪問介護事業のサービス提供責任者数名の退職による減により、当事業所の正職員の人件費が減ることとなった。また、それにより制度上、訪問介護サービスの提供を控えねばなくなり、ヘルパーの稼働時間が連動して減となったため、それが非常勤給与等に反映された。よって法人全体からみれば、一昨年ほどの伸びは無いように思えるが、職員個々の状況を見れば給与充実事業計画以上の伸びと考えられる。

なお、職員育成事業については、先に挙げた職員人材不足と新型コロナウイルスにより研修受講等に十分な時間を費やすことができなかった故、各職員に対し必要最低限の資質向上（研修受講等）を施すほかなかった。

社会福祉充実計画を総合的に見れば、計画をスタートさせた平成 3 0 年当初は充実残額 1 1, 0 0 0 万円であったが、令和 3 年 3 月末日で 3 0, 6 4 0 万円となり、当初計画の 2 倍を超えた為、令和 3 年度より計画の見直し変更を行うこととなる。

社会福祉充実計画 投資実績管理表

計画対象期間：H30.7.1～R05.3.31

当初充実計画

	H30.3月末	H31.3月末	R02.3月末	R03.3月末	R04.3月末	R05.3月末	合計
社会福祉充実残額	110,130,000	97,130,000	84,130,000	71,130,000	58,130,000	0	
計画①							
職員給与充実事業		10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	50,000,000
計画②							
職員育成事業		3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	15,000,000
計画③							
保育所の用地購入事業						45,130,000	45,130,000
投資額計		13,000,000	13,000,000	13,000,000	13,000,000	58,130,000	110,130,000

充実計画現在

	H30.3月末	H31.3月末	R02.3月末	R03.3月末	R04.3月末	R05.3月末	合計
社会福祉充実残額	306,430,000	293,430,000	280,430,000	267,430,000	254,430,000	196,300,000	
計画①							
職員給与充実事業		10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	50,000,000
計画②							
職員育成事業		3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	15,000,000
計画③							
保育所の用地購入事業						45,130,000	45,130,000
投資額計		13,000,000	13,000,000	13,000,000	13,000,000	58,130,000	110,130,000

実際投資額（電子開示システム入力額）

計画①							
人件費支出合計	539,285,162	559,476,749	579,712,660	583,263,733			
差額（投資額）		20,191,587	40,427,498	43,978,571	-539,285,162	-539,285,162	
差額（投資額累計）		20,191,587	60,619,085	104,597,656	-434,687,506	-973,972,668	
計画②							
研修研究費支出	480,978	856,278	367,400	215,264			
差額（投資額）		375,300	-113,578	-265,714	-480,978	-480,978	
差額（投資額累計）		375,300	261,722	-3,992	-484,970	-965,948	
計画①+②合計（システム入力額）		20,566,887	60,880,807	104,593,664	-435,172,476	-974,938,616	
実際残額		89,563,113	49,249,193	5,536,336	545,302,476	1,085,068,616	